

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 105-8419
 住 所 東京都港区西新橋一丁目14番1号
 氏 名 東亜合成株式会社
 代表取締役社長 高村 美己志 印
 (代理人) 川崎工場長 藤原 亮輔
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	東亜合成株式会社 川崎工場		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区浮島町7番4号		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	特殊アクリレート製造、ポリ塩化ビニル製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	11,144	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	品質保証・環境保安G
		所在地	川崎市川崎区浮島町7番4号
		電話番号	044-277-9631
		FAX番号	044-277-1920
		メールアドレス	0
※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度 ～ 平成27年度 (報告年度 平成27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別紙 指針様式2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別紙 指針様式2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別紙 指針様式2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別紙 指針様式2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 24,196 t-CO ₂ (調) 24,172 t-CO ₂	(実) 24,192 t-CO ₂ (調) 24,167 t-CO ₂	(実) 23,436 t-CO ₂ (調) 23,413 t-CO ₂	(実) 22,896 t-CO ₂ (調) 22,873 t-CO ₂	(実) 23,470 t-CO ₂
削減率		(実) 0.0 % (調) 0.0 %	(実) 3.1 % (調) 3.1 %	(実) 5.4 % (調) 5.4 %	(実) 3.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産量		単位	t-CO ₂ /kt	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	1,135	1,149	1,166	1,294	1,101
削減率		-1.2 %	-2.7 %	-14.0 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	ポリ塩化ビニルの生産量が増加し、エネルギーの使用量はそれに伴ない増加した。生産設備1基がトラブルで約20日間停止したため効率の悪い状態で操業した。その結果排出量は基準年度比で微減、排出量原単位は基準年度比で1.2%増加した。
第2年度	生産量減により排出量は目標値に達したが、基準であるATBS生産が効率の悪い状態操業した為、全体的には排出原単位基準年度比で2.7%増加した。
第3年度	ポリ塩化ビニルの生産量増加により、エネルギー使用量が増加した。生産設備のトラブルにより計画停止以外の停止が複数回あったため生産効率が悪化した。その結果排出量は基準年度比で5.4%低減し目標を達成した。排出量原単位は基準年度比で14.0%増加した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、 第 2 号、 第 4 号該当者等)	計 画	設備改善、運転方法見直しによる省エネの推進 ①廃熱回収設備の保安全管理、新規・更新 ②電気使用設備の運転方法の変更、更新等における契約電力の見直し ③台数制御、回転数制御等を用いたポンプ等の運転管理及び回転数制御装置等の新規、更新 ④照明設備において、ランプの交換時期に合わせた高効率照明への更新
	第 1 年度	①計画に沿って定修時に熱交換器の伝熱面の清掃及び保守点検を実施した。 ②事務所 1 階の蛍光灯全てをLED灯に交換し、省エネを図った。 ③主要カ所 3 基の屋外灯 (水銀灯) を高輝度放電ランプに変更した。 ④事務所内の通路及びトイレの照明を人体感知式とした。
	第 2 年度	①昨年に引き続き計画に沿って定修時に熱交換器の伝熱面の清掃及び保守点検を実施した。 ②電気使用設備の運転方法の変更、更新等における契約電力の見直しを実施した。 ③検査室の蛍光灯をLED灯に交換し、省エネを図った。 ④時間帯による電気使用量を調査し、その結果を周知し電気需要の平準化を図った。 ⑤電動負荷の大きな冷水装置を季節変動運転及び蓄熱タンク平衡利用で管理した。
	第 3 年度	①計画に沿って定修時に熱交換器の伝熱面の清掃及び保守点検を実施した。 ②電気使用設備の運転方法の変更、省エネ型への更新等を実施した。 ③構内の外灯をLED灯に交換し、省エネを図った。 ④時間帯による電気使用量を調査し、その結果を周知し電気需要の平準化を図った。 ⑤電動負荷の大きな冷水装置を季節変動運転及び蓄熱タンク利用で管理した。
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラント修理等で発生する廃棄物を分別し減量化を推進している。 具体的には、鉄屑、プラスチック類、紙屑、ガラス類、電池、木屑に分別を実施中。 ・ 大規模工事では川崎市エコ運搬制度を励行する様業者に依頼している。
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場内に複数存在した廃棄物置場を一点に集約し管理し易くした。(PCB廃棄物は除く) ・ 工事中の車両乗入業者に対し、アイドリング停止を依頼した。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定修前に業者安全会議を開催し、出来るだけ乗合って、来社する様に指導した。 ・ 工事中の車両乗入業者に対し、アイドリング停止を依頼した。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定修前に業者安全会議を開催し、廃棄物の分別をする様に指導した。 ・ 工事中の車両乗入業者に対し、アイドリング停止を依頼した。 ・ 廃棄物の分別徹底により、収集運搬車の台数減を実施した。 ・ 工場内の緑化を実施した。(196m²)

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	23,846	t-CO ₂
(調)	23,637	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎工場	川崎市川崎区浮島町7番4号	1639/1635	特殊アクリレート製造/ポリ塩化ビニル製造	23,846 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--